

石英加工製品や石英ガラスによる産業用ランプ・ヒーターなどを手がけるヒメジ理化(兵庫県姫路市)。その会津門田工場(福島県会津若松市)は2020年4月にオープンした最新鋭工場だ。

同社の「会津工場」は、14年設立で営業拠点も兼ねる会津真宮工場(同)に次ぎ2カ所目の工場。背景には世界的な半導体の需要拡大がある。半導体製造プロセスで使う石英ガラス製品の受注が急増する中、「顧客から要望の強い大物部品に

### ヒメジ理化

対 製造現場に足を踏み 応でできるよう、用地を取得して新工場を立ち上げた」と同社Q&S事業部製造技術部の佐藤善和部長は説明する。

**モノづくり現場**  
生産革新・脱炭素社会への挑戦

6

## 加熱設備を自社開発



▲会津門田工場に導入されている自社の電気炉

## エネ効率向上で外販も

入れるとクリーンな環境の一方で、加工品や装置の大きさと熱気に驚く。石英ガラスのチューブを大型の機械で旋盤のように回転させながら、作業者がバーナーで加工する。ただ、このバーナーは酸

素と水素を混合して燃焼させたもの。電気加熱ではパワーが足りないためだ。それでもほかの設備は電気を活用したもの

な大きさの縦型は直径500ミリ、高さ1700ミリまでの石英チューブが入られる。実はこうした生産設備は自社開発品だ。もとと石英ガラス加工やランプ製造のための設備を自社で設計製造していたところ、顧客から「売ってほしい」との要望が寄せられ、19年に加熱装置の設備事業に乗り出した。

C)のヒーターを使い、炉内の雰囲気

を均一に暖める。横型の炉が4台と縦型が2台あり、見上げるような大きさの縦型は直径500ミリ、高さ1700ミリまでの石英チューブが入られる。実はこうした生産設備は自社開発品だ。もとと石英ガラス加工やランプ製造のための設備を自社で設計製造していたところ、顧客から「売ってほしい」との要望が寄せられ、19年に加熱装置の設備事業に乗り出した。

【事業所概要】▽所在地 福島県会津若松市門田町工業団地299、0242・23・7400▽主要生産品目 半導体製造装置はじめ各種産業向け石英加工製品など▽年間CO2排出量 非公表